

『万台こゆるぎの森』整備活用事業始まる

～学校法人国際学園と賃貸借契約を締結～

事業の概要

今後 50 年間にわたる契約で、星槎大学通信制課程（スクーリング）や星槎中学校湘南分教室の開校、将来的には、小学校、高等学校の開校が予定されています。また、町民の方々も利用できる各種公開講座や交流メニューが多数計画されており、「万台こゆるぎの森」の自然環境を最大限に活かし、大学の開校と合わせ、子ども達も含め広く一般町民の方々のために様々な総合学習・体験学習、公開講座など生涯学習の場としても町民の方が利用できる計画となっています。

さらに、文部科学省から教員免許更新講習の会場として認可を受けており、多くの現職の先生方が来機され、滞在効果など町の活性化も期待されています。



期待される民間活用

◆将来にわたる町の教育環境・財政運営に貢献

「万台こゆるぎの森基本計画」を実現するためには、およそ 11 億円以上の整備費と年間 1,700 万円以上の維持管理費が必要です。少子高齢化が進む中、町財政の安定化は重要な課題の一つです。

この事業は、民間の力を借りて、「万台こゆるぎの森基本計画」を実施しようとするもので、大きな経費の削減が期待できます。また、旧吉田邸、城山公園、運動公園につながる西部地区の一大文教ゾーンと成り得るものです。

◆豊かな緑を将来にわたって保全

町民の皆様にとっても、引き続き「万台こゆるぎの森」が利用でき、将来にわたって豊かな緑を保全していくことができます。

事業者である学校法人国際学園の選定経過

「万台こゆるぎの森（国府本郷・旧野村研修所）」にこれまでかかった維持管理費用は、固定資産税の減収も含め 1 億 3 千万円ほどです。引き続き町が整備を実施するとすると維持管理費を含め 15 億円を見込んでおり、町単独で事業を行うことは財政的に大きな町民負担を伴うこととなります。そこで平成 20 年 5 月、民間の力を借りながら有効に利活用していくために、公募を行い、学校法人国際学園が提案した整備活用計画が選定されました。

学校法人国際学園

昭和 55 年 12 月に設立し、幼稚園から大学まで運営する学校法人。星槎（せいさ）グループの中の一つの法人です。

星槎グループは、学校法人をはじめ、保育園や障害者デイサービス施設を運営する社会福祉法人、不登校傾向および特別な支援を必要とする児童生徒の対応や保護者の相談業務を行う NPO 法人などを組織しています。

学校法人国際学園が万台こゆるぎの森に設置を計画した学校

◎せいさ星槎大学 大磯キャンパス

2004 年に設置された通信制課程の大学です。「だれでも、いつでも、どこでも」自分のペースで学べるのが特徴です。2,200 名の在籍学生数のうち現職の教員が全体の約 4 割を占め、教員免許取得講座、平成 21 年度から導入された教員免許更新講習にも対応しています。幼稚園・小学校・中学校・高等学校・特別支援学校の教員免許資格が取得できます。

◎せいさ星槎中学校 湘南分教室

内閣府によって教育特区の認定を受け、教育上特別な配慮を必要とする生徒（様々な要因で、小学校時代に不登校あるいは不登校傾向であった子供たち）に対し、現行の学習指導要領の基準によらない編成・実施を行うことが認められた学校です。全日制で、将来的には小学校、高等学校を検討しており、小中高の一貫教育を進める計画です。

現在の契約内容

◆町の財産部分(34,902 m²)…50 年の定期借地権設定契約(賃料:年額 1 千万円、契約保証金:2 千万円)

◆土地開発公社の財産部分(53,309 m²)…一年間更新の使用貸借契約

万台こゆるぎの森は、町と大磯町土地開発公社が所有しています。平成 21 年 3 月の町議会定例会で、公社の土地を町が購入することを議会に提案し、土地を一括で貸す予定でしたが、議会から公社の土地を購入してはならないという結果

となりました。

このままの状態では、計画している事業が滞る恐れがありますので、町民や議会の御理解をいただき、全体の貸付け契約を締結し、事業展開を図っていきます。

どんな利用ができるのでしょうか

◆今後も国際学園と共に責任を持って利活用を進めます

○散策・散歩

自然豊かな森の散策や散歩が楽しめます。

○交流メニューなど

町民の方々が利用できる交流メニューが多数計画されています。

【キャンプ場】

ファミリーのデイキャンプから合宿キャンプまで、体験型キャンプ場としてもご利用いただけます。



【天体観測施設】

高精度の天体望遠鏡を常設します。また年次的にプラネタリウムの設置を予定しています。



【陶芸施設】

プロ仕様の電気炉を準備しています。日常使うお茶碗や湯呑・お皿など自分オリジナルを作ります。

【グラウンド】



日本サッカー協会及びFIFA認定の人工芝コートを予定しています。大磯中学校や国府中学校のサッカー部との合同練習も企画していきます。

【体験農園・醸造体験】

体験農園を設置し、地域の農業の大先輩の皆様の指導をいただきながら子供たちとの農業体験を企画しています。

【ミニミュージアム】

子どもたちに本物を見せたい、本物とふれ合う場面を作りたい。そんな想いをつめ込んだ展示スペースを常設します。

【多目的ホール・多目的室】

地域の合唱サークル・踊りのグループ・音楽サークル等の練習や発表会の場所としてご利用いただけます。

【生涯学習講座の開講・市民大学】

生活に密着した身近な題材で講演・公開講座を企画提案し、本学園講師による「市民大学」を開講します。

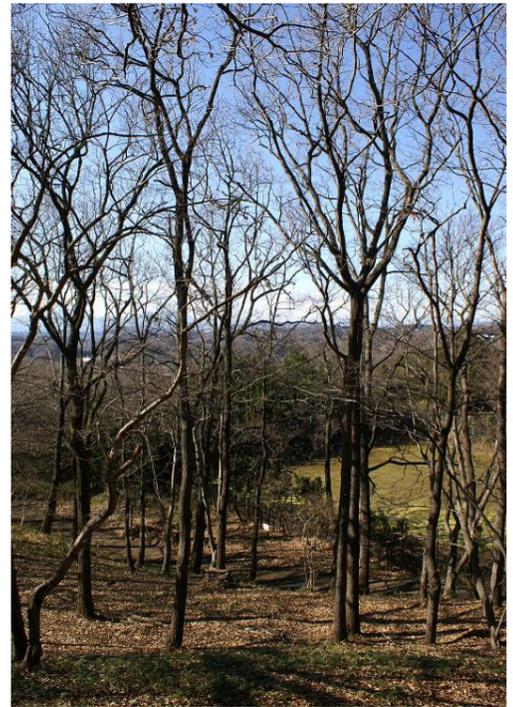
【教員研修センター】

教員免許状更新講習・教員免許法認定講習・教育連携コーディネーターの養成も行います。

これらの集中スクーリング会場を予定しており、同時に研究室を常設します。これにより、日本中の熱心な先生達が集まる町「大磯」となるよう計画いたします。

【この他に計画されているメニュー】

- ・子育て支援センター
- ・高齢者・障害者支援センター
- ・広域避難場所として
- ・コミュニティFM放送局



将来構想の全体像



○問い合わせ 大磯町財政課
電話 0463(61)4100 内線 217